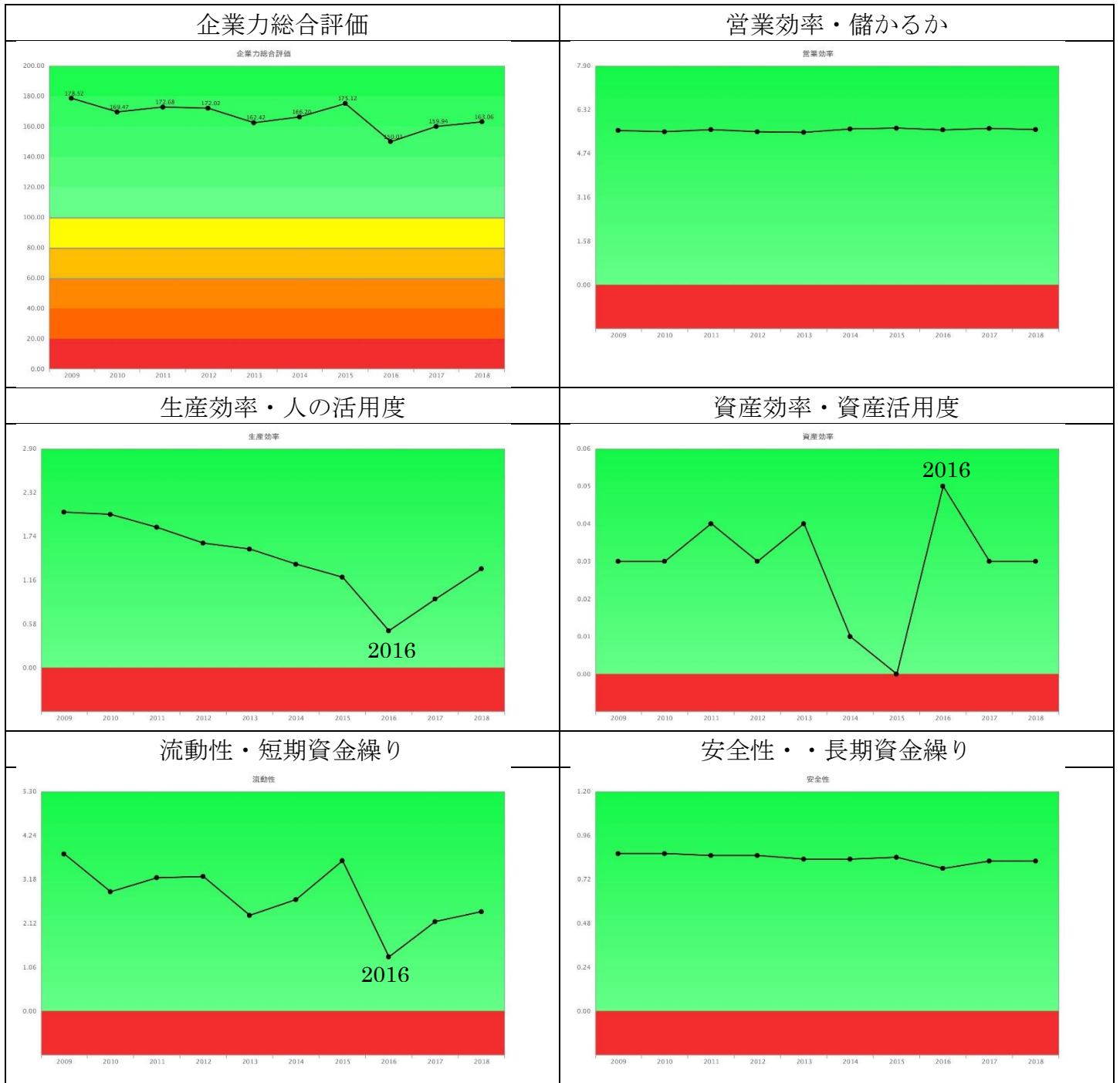


ZOZOタウン運営の株式会社ZOZOの前澤社長は、何をやるにしても、人と同じことが嫌い。なぜなら競争したくないから。千葉愛が強く、本社は幕張、幕張に住めば幕張手当で5万円が支給されるという。個性的な新進気鋭の社長の(株)ZOZOはどんな経営状況なのでしょう。

2009～2018年3月期までの連結財務諸表を企業分析してみました。



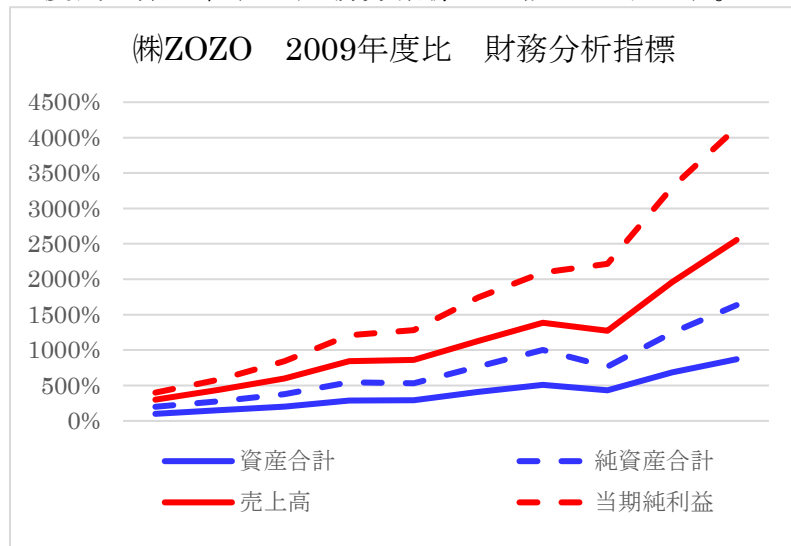
ビックリされるかもしれませんが、企業力総合評価は、長期に緩やかな悪化トレンドです。といっても2009年時点で178.52PとSPLENDID21分析史上最高の181.28Pのキーエンスと変わりありません。9年前の2009年から超優良企業でした。

(株)ZOZOで、問題があるとすれば、生産効率です。2016年までの7年間悪化し続けました。管理部

門が生産効率に無頓着になるのは、カリスマ社長への依存度が高い場合に可能性が高くなります。加えて営業効率が絶好調ですから、生産効率を気にする必要もなかったのかもしれませんが、企業はどんなに良くても自社の経営状況に敏感である方が、長く優良な状況を維持できます。いかに優秀な経営者でも何百年も生きることはできません。絶好調の時、自動安定化するような仕組みを構築すべきです。

2016年、資産効率の改善と流動性の悪化がセットになっていますが、117億円の自社株買いを行ったため、大きな問題はないようです。企業力総合評価と流動性の形状が一致していますから変動要因は流動性と言えます。流動性の改善をすれば、企業力総合評価も超高度安定となります。

超優良企業の秘密を財務分析指標から読んでみます。



2009年度を100とした場合の資産合計、純資産合計、売上高、当期純利益を示しています。売上高が伸びる以上に当期純利益が増加する。総資産額が増える以上に純資産額が増える。儲けと財務体質改善に加速度がついています。4指標の関係は9年間変わらない、これがこの会社の強さを示す動的な財務分析指標。

2018年3月期の貸借対照表は圧巻です。総資産額の実に35%が現金預金、36%がすぐに現金回収される売掛金です。負債は受託販売預り金以外は引当金・退職給付債務など、

将来の支出に備えて計上したものがほとんど。

店舗販売のアパレルであれば有形固定資産を沢山持つ必要がありますが、ECサイトはそれがありません。ネット上の店はソフトウェアとして計上され実に2億円の店舗で984億円売る計算になります。

貸借対照表

流動資産	現金預金	246億円	受託販売預り金	137億円
	売掛金	254億円	流動負債	
固定資産	有形固定資産	56億円	固定負債	
	ソフトウェア	2億円	純資産	

結局のところ、貸借対照表には、通帳と営業債権債務のメモ帳しかありません。無駄なものを持たない。貸倒引当金すらありません。債権管理も貸倒リスクも最小限が基本なのでしょう。

まとめ

ビジネスモデルが良ければ、旧来型事業で苦勞が絶えなかった問題に悩まされずに済みます。自社の経営を変えたいなら、他社を数字だけで考察すると発想の不足に気づきます。

お問合せ先 SPLENDID21 に関するお問合せは下記までお願いいたします。
 〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号 税理士法人 諸井会計
 tel 0952-23-5106 fax 0952-22-2888 ☒ info@moroi.co.jp URL <http://www.moroi.co.jp/>